

平成22年度

組織・人員配置等
事業概要

三重県水産研究所

平成22年度 水産研究所事務分掌

水産研究所
現在員 41名

所長 紀平正人

企 画 調 整 課 10名

副参事兼課長 内田高昭
主幹 鈴木昌博
主幹 松田浩一
主幹兼機関長 岡本楠清
主幹兼船長 松尾剛平

- 1 職員の身分及び服務に関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 ISOの認証に関する事
- 7 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 研 究 課 8名

総括研究員兼研究管理監兼課長 神谷直明
主幹研究員 青木秀夫
主任研究員 井上美佐
主任研究員 田中真二

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 新品種作出、育種技術に係る試験研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る試験研究並びに指導に関する事
- 4 栽培漁業(定着性資源)に係る調査研究に関する事

資 源 開 発 管 理 研 究 課 4名

主幹研究員兼課長 津本欣吾
主任研究員 岡田 誠

- 1 漁海況予報に係る調査研究に関する事
- 2 資源管理型漁業に係る試験研究に関する事
- 3 国際魚類資源(カツオ、マグロ類)に係る試験研究に関する事
- 4 栽培漁業(回遊性資源)に係る調査研究に関する事

水 圏 環 境 研 究 課 6名

総括研究員兼課長 山田浩且
主幹研究員 清水康弘
主任研究員 舘 洋
主任研究員 畑 直垂

- 1 環境・生態系の保全・修復に係る調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮(ヘテロカプサ等)の調査研究に関する事
- 4 有害プランクトン(貝毒)の調査研究に関する事
- 5 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事
- 6 閉鎖性海域環境研究センターに関する事

鈴 鹿 水 産 研 究 室 7名

主幹研究員兼室長 藤原正嗣
主任研究員 水野知巳
主任研究員 坂口研一
主任研究員 中西尚文

- 1 内湾の貝類増殖に係る調査研究に関する事
- 2 黒ノリ養殖に係る試験研究に関する事
- 3 魚類の持続的生産に係る調査研究に関する事
- 4 浅海域の生態系保全に係る調査研究に関する事
- 5 河川の生態系保全、増殖に係る調査研究に関する事

尾 鷲 水 産 研 究 室 5名

主幹研究員兼室長 土橋靖史
主任研究員 宮本敦史

- 1 海面養殖に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ・クエの種苗生産技術開発に関する事
- 4 魚類養殖場の環境保全に係る調査研究に関する事

予算総括

平成22年度当初予算ベース (千円)

	担当研究課(室)	期間	事業費
I 水産研究所予算			総計350,322
施策 227 農林水産業を支える技術開発の推進			
基本事業 22704 水産業を支える技術開発の推進			計100,478
(1) 産地間競争力を高める技術開発			
① 希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】	水産資源育成	H19～22	2,600
② 新しい真珠養殖技術実証化事業(新規)	水産資源育成	H22～23	1,882
③ ノリの品種改良及び育苗再生技術等の開発【舞台づくりP】	鈴鹿水産	H19～22	2,552
④ マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】	尾鷲水産	H19～22	5,875
(2) 持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発			
① イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究	水産資源育成	H20～22	2,236
② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業	水産資源育成	H21～23	1,231
③ 栽培漁業技術総合開発研究事業	資源開発管理	H20～24	690
④ 資源評価調査事業	資源開発管理	H12～	17,407
⑤ 資源管理に必要な情報提供事業	資源開発管理	H15～	908
⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	資源開発管理	H13～	1,495
⑦ 魚類養殖試験	尾鷲水産	H21～23	1,915
⑧ アユの減少要因の解明に関する研究	鈴鹿水産	H20～24	922
⑨ アサリ資源回復促進技術開発事業(新規)	鈴鹿水産	H22～24	2,314
⑩ アサリ等二枚貝の資源増大対策【舞台づくりP】	鈴鹿水産	H19～22	704
⑪ 環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】	水産資源育成	H19～22	610
(3) 環境保全に向けた技術開発			
① 英虞湾漁場環境調査	水圏環境	H20～24	2,126
② 熊野灘沿岸における有害プランクトン優占化機構に関する研究	水圏環境	H20～	1,084
(4) 緊急雇用創出関係			
① 伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業	鈴鹿水産	H21～22	16,770
② カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業	鈴鹿水産	H21～22	14,000
③ 魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	尾鷲水産	H21～22	2,185
④ マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業	資源開発管理	H21～22	10,145
⑤ マハタ・クエ人工種苗形態解析緊急雇用創出事業	尾鷲水産	H21～22	4,299
⑥ 白色系アコヤガイ交配試験緊急雇用創出事業(新規)	水産資源育成	H22	6,528
施策 413 水環境の保全			
基本事業 41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進			計13,637
① 沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】	水圏環境	H19～22	3,669
② 英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】	水圏環境	H19～22	1,011
③ 陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】	水圏環境	H19～22	3,245
④ 底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】	水圏環境	H19～22	2,385
⑤ 自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】	水圏環境	H19～22	3,327

	担当研究課(室)	期間	事業費
施策513 科学技術交流の推進			
基本事業 51301 研究交流の推進			計12,050
① 室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発	鈴鹿水産	H19～23	2,000
② 遺伝子組換え生物の産業利用における安全性確保総合研究 (遺伝子アコヤ)	水産資源育成	H21～22	2,000
③ 英虞湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築 【実装支援事業】	水圏環境	H21～24	6,500
④ サツキマス海面養殖技術の開発 (新規)	尾鷲水産	H22	550
⑤ 漁場生産力の有効活用によるアサリ母貝場造成および新規創出技術開発 (新規)	鈴鹿水産	H22～24	1,000
基本事業 51304 科学技術基盤の整備			計212,778
① 水産業試験研究管理費	企画調整		47,854
② 水産業研究施設機器整備費	企画調整		160,641
II 農水商工部 水産資源室・水産基盤室予算			
基本事業 22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保			計7,889
(1) 元気な三重の養殖業推進対策事業 (新規)			
① みえの特色ある養殖推進事業 (マダイ飼料の開発・ヒジキ養殖など)	水産資源育成 尾鷲水産	H22	2,599
② 養殖水産物付加価値向上調査事業	企画調整 鈴鹿水産	H22	4,000
(2) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業			
① 養殖衛生管理体制整備事業	水産資源育成 尾鷲水産 鈴鹿水産	H15～	478
② 貝毒成分モニタリング調査	水圏環境	H7～	90
(3) 資源管理体制・機能強化総合対策事業			
① 資源回復計画推進事業			
◇底曳網漁業資源回復計画普及推進事業 (資源回復実践調査)	資源開発管理	H20～23	241
◇イカナゴ資源回復計画作成推進事業	鈴鹿水産	H20～23	481
基本事業 22603 水産生産基盤の整備			計7,300
(1) 熊野灘海域浮魚礁設置事業費			
① 熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	資源開発管理	H19～23	5,000
(2) 広域漁場整備事業に関する調査	資源開発管理	H22～	2,300
施策223 農水産業の持つ多面的機能の維持・向上			
基本事業 22302 水産業の多面的機能の発揮			計473
(1) 伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業費			
① アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】	鈴鹿水産	H19～22	307
② 伊勢湾環境保全型ノリ養殖推進事業【舞台づくりP】	鈴鹿水産	H19～22	166

事業概要

事業名	予算額 (千円)	事業概要																														
51304科学技術基盤の整備		水産研究部の維持管理費、調査船の維持管理費など (県単、一部諸収入)																														
(1) 水産業試験研究管理費		【調査船】																														
① 熊野灘沖合地殻変動調査事業	5,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 船名</th> <th>船質</th> <th>トン数</th> <th>馬力数</th> <th>進水年月</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あさま</td> <td>軽合金</td> <td>79.0</td> <td>D 400</td> <td>H14. 3</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td>1.1</td> <td>D 42</td> <td>H 4. 8</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>まつかぜ</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>外 30</td> <td>H11. 3</td> <td>養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td>灘 風</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>D 35</td> <td>H14. 3</td> <td>湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究	まつかぜ	〃	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測	灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質		トン数	馬力数	進水年月	用途																										
あさま	軽合金		79.0	D 400	H14. 3	調査研究																										
小大勢	F. R. P		1.1	D 42	H 4. 8	調査研究																										
まつかぜ	〃		1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																										
灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																											
② 管理費	42,054																															
③ アサリ未利用稚貝の有効活用技術開発事業	800																															
(2) 水産業研究施設機器整備費	162,176	海水ろ過施設の更新、本館屋根改修工事など																														

2. 試験研究費		
22704 水産業を支える技術開発の推進		
(1)産地間競争力を高める技術開発		
① 希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】	2,600	低迷する真珠養殖産業の活性化のため、希少で高品質な真珠を生産するアコヤガイの作出技術および適切な養殖条件を明らかにするための技術開発を行う。【県単】
② 新しい真珠養殖技術実証化事業（新規）	1,882	水産研究所において開発したアコヤガイの選抜育種技術と養殖技術を更に高め、漁業者が活用しやすいものとするために必要な実証化試験を行い、新しい技術の普及、定着を促進する。【県単】
③ ノリの品種改良及び育苗再生技術等の開発【舞台づくりP】	2,552	黒のりの採苗技術の改良と細胞レベルの選抜により、高水温耐性に優れた品種の開発を行うとともに、育苗期間の芽落ち被害を軽減するため、新しい採苗技術を応用して芽落ちしたノリ網を再生する技術を開発する。【県単】
④ マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】	5,875	マハタ、クエを東紀州の特産品として位置づけ、地域ブランドとしての定着を促進するため、育種等により優良種苗を安定して生産する技術を確認するとともに、養殖魚の品質向上等を目的とした養殖技術のさらなる高度化を図る。【県単】
(2)持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発		
① イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究	2,236	三重県で開発した新たな飼育システムの改良、餌料の質的向上、飼育環境の好適化や疾病防止技術の導入等を図り、幼生飼育の効率化と飼育個体数の増大を実現する。【県単】
② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業	1,231	放流直後のアワビ種苗の動態を明らかにするための新しい技術としてアバロン・タグの有効的な活用法を開発するとともに、その技術を用いて種苗の生残率を高めるための条件を解明し、アワビ種苗の放流効果の向上を目指す。【県単】
③ 栽培漁業技術総合開発研究事業	690	トラフグ、クルマエビ、ヨシエビを対象に生態的知見を収集するとともに、放流後の追跡調査や放流適地の探索を行い、栽培漁業技術の総合的な向上を図る。【県単】
④ 資源評価調査事業	17,407	漁獲統計資料の解析、生物測定調査や調査船調査の結果に基づき、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シヤコ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。【水研センター委託】
⑤ 資源管理に必要な情報の提供事業	908	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して、その情報を関係機関に迅速に広報し、操業の効率化を図る。【交付金】
⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	1,495	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもとに、本県では県立水産高校と連携して、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】
⑦ 魚類養殖試験	1,915	養殖マダイのエドワジエラ症感染リスクの低減を図るため、予防効果が期待される物質の有効性を検討し、有効性が確認された物質について用法用量を調査する。【県単】
⑧ アユの減少要因の解明に関する研究	922	放流後のアユの減耗状況を定量的に評価し、減少要因を究明するとともに、その軽減策を検討、提言する。【県単】

事業概要

事業名	予算額	事業概要
⑨ アサリ資源回復促進技術開発事業（新規）	2,314	三重県漁業調整規則による殻長制限2cmを変更した場合のアサリ資源量に及ぼす影響を調査するとともに、海底耕耘がアサリ稚貝の着底、成長に及ぼす影響を調査する。【県単】
⑩ アサリ等二枚貝の資源増大対策【舞台づくりP】	704	伊勢湾有数の貝類漁場である木曾三川河口域等を対象に、貧酸素水塊の波及機構とそれに対応する二枚貝類の生理的变化、生残状況を調査し、被害軽減策を検討する。【県単】
⑪ 環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】	610	真珠養殖漁業者が漁場において適正な養殖管理を行い、生産性の向上を図れるよう、環境と養殖管理技術の関係を体系化すると共に、それらを養殖管理マニュアルとしてとりまとめ提供する。【県単】
(3)環境保全に向けた技術開発		
① 英虞湾漁場環境調査	2,126	英虞湾の海底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。また、動画を用いた新たな赤潮生物検索マニュアルを作成する。【県単】
② 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	1,084	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの長期的な変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮の拡散メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。【水産庁委託】
(4)緊急雇用創出関係		
① 伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業	16,770	伊勢湾海底の底生生物と底質の現況を把握し、生物の多様性の保全や持続的な生物資源の利用のための基礎資料とする。
② カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業	14,000	県内全般にわたってカワウによるアユ等の放流種苗の食害状況等を整理・把握し、カワウの保護管理・食害防止のための調査の基礎資料を作成する。
③ 魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	2,185	養殖魚の魚病診断の効率化を図るため、紙ベースで保存している魚病診断カードの情報を用いて電子カルテを作成する。
④ マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業	10,145	伊勢湾におけるマアナゴの生理生態を解明し、資源回復計画の効果的な推進を図るため、葉形仔魚の精密計測による発育段階の分析と、若魚生殖腺の標本作製およびその分析を行う。
⑤ マハタ・クエ人工種苗形態解析緊急雇用創出事業	4,299	マハタ・クエの種苗生産過程で発生する形態異常を把握し、種苗生産技術の高度化を図るため、マハタ・クエ仔稚魚の鰓（うきぶくろ）切片標本の作成およびその分析を行う。
⑥ 白色系アコヤガイ交配試験緊急雇用創出事業（新規）	6,528	白色系アコヤガイの真珠層分泌に及ぼす系統の影響を調査するための交配試験と飼育管理を行い、真珠品質の変動原因を明らかにする。
41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進		
① 沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】	3,669	沿岸休耕地（潮止め堤防内湿地）の海水交換による生態系の変化を詳細に把握し、得られた知見をもとに干潟・藻場の再生技術を開発する。また、細胞培養によるアマモ場造成用種苗の量産技術開発に取り組む。【県単】
② 英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】	1,011	地域結集型共同研究事業で英虞湾内に造成した人工干潟・藻場を長期的に追跡し、地形の変化や生態系の安定性を評価し、実効性のある造成手法を開発する。【県単】
③ 陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】	3,245	地域結集型共同研究事業の成果を活用し、森林、農耕地等の陸域から流出する物質の動態把握、さらにはそれらが沿岸域の低次生産に及ぼす影響を評価し、閉鎖性海域の環境再生に向けた海域管理手法を提案する。【県単】
④ 底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】	2,385	流域の土地利用形態及びそれらの歴史的変遷と海底堆積物の特性との関係を解析することにより、底泥の堆積メカニズムを解明するとともに、堆積抑制手法を提案する。【県単】
⑤ 自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】	3,327	アコヤガイなど二枚貝を特異的にへい死させるヘテロカプサ赤潮の防除対策として、最近発見されたヘテロカプサのみ殺藻し、他の生物には害のないウイルスによる赤潮発生防止技術を開発する。【県単】
51301 研究交流の推進		
① 室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発	2,000	黒のり養殖で問題となっている赤ぐされ病に対する耐病性に優れた品種を開発するため、品種間における耐病性の差異を検出、評価する手法を確立する。【水研センター委託】
② 遺伝子組換え生物の産業利用における安全性確保総合研究（遺伝子アコヤ）	2,000	真珠生産過程で導入された遺伝子の安定性と導入遺伝子により付与された特性に関する知見を得るため、導入遺伝子の動態と真珠層の結晶構造の関連について調査する。【（独）農業環境技術研究所委託】

事業概要

事業名	予算額	事業概要
③ 英虞湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築【実装支援事業】	6,500	英虞湾内の沿岸休耕地をモデル実装地として、地域住民と連携した干潟再生活動を実施することで、効果的な干潟再生技術を実証レベルで確立するとともに、住民参加による干潟再生活動の継続を図る。【科学技術振興機構（JST）委託】
④ サツキマス海面養殖技術の開発（新規）	550	成長が速く単価も高いことから新しい養殖対象種として期待できるサツキマス（アマゴ）の養殖技術を開発する。 【（財）岡三加藤文化振興財団の助成】
⑤ 漁場生産力の有効活用によるアサリ母貝場造成および新規創出技術開発（新規）	1,000	母貝となるアサリの成長、成熟と漁場の餌料環境、物理的環境の関係を把握し、アサリの成熟・産卵に適した環境条件の検証を実施します。【水研センター委託】
Ⅱ 農水商工部 水産資源室・水産基盤室予算		
22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保		
① みえの特色ある養殖推進事業	2,599	マダイの飼料開発、ハギ類の養殖技術開発、ヒジキの養殖技術開発など新たな養殖技術の開発を実施する。
② 養殖水産物付加価値向上調査事業	4,000	養殖生産物の付加価値向上を目指した技術開発のための調査（マハタのマーケティング調査、加工研究の現状の調査、ノリ機能成分の検討）を実施する。
③ 養殖衛生管理体制整備事業	478	養殖技術講習会の開催、養殖現場の巡回指導、魚病診断等を行い、飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正使用について指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。
③ 貝毒成分モニタリング調査	90	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで貝毒被害を防止する。
④ 底曳網漁業資源回復計画普及推進事業（資源回復実践調査）	241	伊勢湾の底曳網対象資源の小型個体の保護を図るため、漁船上で漁業者が簡便に小型個体を選別する選別機を開発する。
⑤ イカナゴ資源回復計画作成推進事業費	487	伊勢湾のイカナゴ資源について、より高位で安定的な漁獲水準を維持できるよう、資源回復計画を推進するために必要な科学的情報を収集する。
22603 水産生産基盤の整備		
① 熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	5,000	浮魚礁設置海域周辺の表～底層の流向流速、魚群の蟄集状況、魚礁の利用実態等を調査し、浮魚礁の効果的な設置・運用方法を検討するための基礎資料を得る。
② 広域漁場整備事業に関する調査	2,300	広域漁場整備事業が実施される海域で対象魚種（マダイとアオリイカ）の生物学的特性を調査する。
22302 水産業の多面的機能の発揮		
① アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】	307	伊勢湾において、漁業者によるアサリの自主的な資源管理型漁業を導入するため、アサリの資源動態を把握すると共に、資源管理の実践に必要な知見の収集および管理手法の開発を行う。
② 伊勢湾環境保全型ノリ養殖推進事業【舞台づくりP】	166	ノリ養殖漁場において、定期的に栄養塩濃度やプランクトンの発生状況を調査し、それらの結果をリアルタイムで養殖業者に提供し、ノリ養殖生産の効率化、安定化に資する。